事務事業ID 0680

平成 29 年度

# 事務事業評価シート

平成 29 年 7 月 31 日作成

	3	事系	务事業名	鷹生ダム	多目的	」広場維持	管理事	業		□実	施計画登	載事業		□ 総	合戦略登	載	事業	
			政策名		いに滞	ちた快適	か都市も	景培の創造	告		事業其	明			予算		_	
正会	女							ペジロマン石リス	E.		ーデース .年度のみ	/11⊨1		会計	款	頁	目	事業
化	<b>表本</b>		施策名	2 0 <sup>良</sup>	好な生	活空間の	創造				- 牛皮のか			01	08	)3	01	01
77.	Ŕ	基	本事業名	0 4 公	園•緑:	地の整備					年度繰返	+14 F	h: \	01	08 (	)3	01	01
		根	拠法令	0 4							(開始 平原	<b>火14 年</b> 月	を()		事務事	業区	区分	
			部課名	都市整備	部建設	2課				□ 期	間限定複数	(年度		Λ	女策事業			
	所	_	課長名	新沼克彦			<b>=</b> =7		0.1.1.1		計画期間】		£		以束争来 拖設管理			
	属	١	係 名 担当者	業務係 伊藤全矢			電話内線		317	<b>※</b> 全体	年度 計画欄の約		年度		-般(A~D			
14	事系	务事				、手順、詳			数年度事業は全					画(※	期間限定	复数:	年度0	)み)
									て整備が行われ			度か			支出金			
									、場の造成が完了 とに「利活用に係			·開催 総	事源		府県支出金 /ま			
l	·, ,	は「植栽計画検討会(ワークショップ 50名)」を開催後、その意見をもとに「利活用に 、、広場の整備方針を決定し、13年8月から14年3月まで広場の整備を行い、14年9 5、14年10月にオープンした。広場の主要施設は、西洋芝11,000㎡、樹木 673本、									の活着・養生	:に努 <mark>投</mark>	業別		b方債 その他			
			‡10月にオー 80個、築山				、四拝之	11,000m	. 樹木 673本、散	<b>東路(L</b> ⁼	=225m, W=3	Sm)、石 <mark>人</mark> 量	費」訳	_	般財源			
	オ		プン当初(14年	丰度)は、付え	丘にトイ	レ施設がな		10 -10 -1	を設置しての維持		,	が、			計 (A)			0
									糞の撤去、芝刈り o業務内容、費用			- 11 D +			従事人数 務時間			
Juo	とて	大	船渡市シルノ	ベー人材セン	/ターに	委託してい	る。24年	度からは利	利用期間の拡大を	と図るた	め委託期間				計 (B)			0
カ	146	11,	月とした。事刻	業費は、委託	E料、修	繕料、役務	費(トイレ	汲み取り手	F数料)として支出	iされる。	)		トータ	ルコス	<b>├</b> (A)+(B)			0
1		現	 	(DO)														
(	1)	事	務事業の目	的と指標														
			没(主な活動 <mark>医実績(前年</mark>		- <b>土</b> ナ:	注酬)				(5	)活動指標		活動量を表 <b>称</b>	長す指標?	)		単位	<del>.</del>
							:ンス沿い	の草刈5回(6	月、7月各1回、8月				վոր					. <u>.                                   </u>
	回g 回)		回)、鹿等の糞	清掃・ゴミ拾い	い10回(4,	,5,7,9,10,11月	各1回、6	5,8月各2回)、	散水4回(6~9月各		維持管理	美務日数					日	
			₹計画(今年	: 産に計画!	ープロ	ス <del>↑ ナ</del> 六千番	<del>+</del> /			7/1	•							
								の草刈5回(6	月、7月各1回、8月	_								
	回g 回)		回)、鹿等の糞	清掃・ゴミ拾い	10回(4,	,5,7,9,10,11月	各1回、6	,8月各2回)、	散水4回(6~9月各									
			象(誰、何を	.計色にして	-1 \ Z /	ひか/ キー	<b>火白母</b> :	次活生		6	対象指標	(対象の大きる <b>名</b>		標)		1	単位	Ļ
	_		<b>水(証、问で</b> り広場利用者		.0.00	<b>ルル) 本 人</b>	6日然.	貝까可		_	A 11 44 44							
ŀ	多	目自	内広場							カ 多目的広場利用者数					人			
										7 +	多目的広:	場(平場)面	ī積				$m^2$	
(;	3) ;	意[	図(この事業	によって、	対象を	をどう変え	るのか)											
ŀ	(3	月	的広場利用	者が)広場を	より安	全、快適に			5.	2								
ľ	(3	ラ目	的広場が) 良	と好な状態を	維持さ	れる。					)成果指標	(対象における <b>名</b>		を成度を表	長す指標)		単位	+
										44	多目的広						件	
1	_		果(基本事業		上位の	基本事業	にどの。	ように貢献	(するのか)	\	多日的広	易个具合的	一奴				17	
1	公区	<b>Ĭ</b> •₩	录地が確保さ	れている。						\ <mark> </mark> >	多目的広	場不具合対	応率				%	
(	2)	松	事業費∙指榑	画生の 堆投	Z													
(	<b>∠</b> /	ብላርን -	ア木貝 111	ж <del>ч</del> т∨∕ ] <b>±</b> 163		年度単位	27年	度(実績)	28年度 (実績)	29年	度(目標)	30年度(	目標)	31年	度(目標)	32	年度(	(目標)
h			財工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工			千 円									,		-	
		事	源地士傳	:支出金		千 円 千 円								-				
l.	1	業費	7 - 11			千円												
投入		頁	一般財源			千円		999	900		900		900		900			900
H	┋-		争美 正規職員従事	·費計 (A) 事人数		チ 円 人		999	756 1		756 1		756 1		756 1			756 1
		件	延べ業務時	間		時間		30	30		30		30		30			30
	ŀ	費	人件費計(E	3) スト(A)+(B)		千 円		120	120		120		120		120			120
H			トーダルコ	VL(A)+(B)	ア	+ 14		1,119 52	1,020 41		1,020 41		1,020 41		1, <b>020</b>			1,020 41
			⑤活動指	標	1	Н		02	11		- 11		11		-11			-11
			E-W.H		ゥ													
					カ	人		153	154	54 160			160 16					160
			⑥対象指	標	+	m²		11,000	11,000	)	11,000		11,000		11,000		1	1,000
L		<u> </u>				to.					^							
			(7) ct ⊞ +t: -1	<del>l</del> æ	ぐヰ	件 %		0			0		0		0			0
			⑦成果指	示	ンス	7/0		0	(	'	0		0		0			- 0

事務事業名 鷹生ダム多目的広場維持管理事業

#### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

0680

## ①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

鷹生ダム周辺環境整備の一環として整備された多目的広場が、平成14年10月にオープンしたことによる。

#### ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

グラウンドゴルフを中心に利用されている。天候等の影響により利用者数の変動がある。平成23年度〜24年度は、東日本大震災以降盛川河川敷が使用できない状況にあったため、大船渡グラウンド・ゴルフ協会が定期的に使用していた。平成27年度〜平成28年度は五葉湖畔の集いの際に行われている、グラン ドゴルフ大会出場者のみの利用となっている。

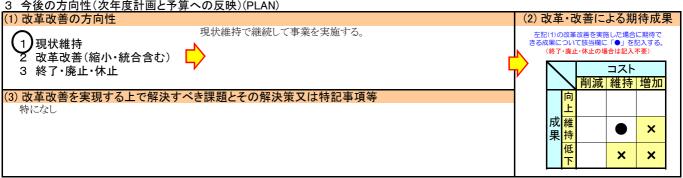
#### ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

利用者からの要望で、鹿を広場に入れないための防護柵(再)設置していたが、所々破損している箇所があった。 修繕はシルバー人材センターに依頼済

## 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

#### ⇒【理由】 見直し余地がある ① 政策体系との整合性 ✓ 結びついている ⇒【理由】 鷹生ダム多目的広場を良好に維持管理することにより、快適な都市環境の創造につながっている。 この事務事業の目的は当市の政策体系に 結びつくか?意図することが結果に結び ついているか? 目 的 見直し余地がある ⇒【理由】ラ ② 公共関与の妥当性 妥 妥当である ⇒【理由】□ 鷹生ダム多目的広場は、市民に憩いとレクリエーションの場を提供し、福祉の増進及び鷹生ダムの周辺環境の向 なぜこの事業を当市が行わなければなら ないのか?税金を投入して、達成する目的か? 性 上に資するため、市で設置したもので妥当である。 評 価 ⇒【理由】 見直し余地がある ③ 対象・意図の妥当性 適切である 多目的広場利用者に、広場をより安全・快適に利用してもらう、また、広場を良好な状態に維持すること以外の対 対象を限定・追加すべきか?意図を限 象・意図の限定・拡充は考えられない。 定・拡充すべきか? ☑ 向上余地がある ⇒【理由】 つ ④ 成果の向上余地 向上余地がない **⇒【理由】**□ 16年度は6月から行っていた維持管理事業を、18年度からは5月から行ったため、利用者が増加した。今後は、広 成果を向上させる余地はあるか?成果の 現状水準とあるべき水準との差異はない 場利用のPRをする機会を増やすことで、成果を向上する余地はあると思われる。 か?何が原因で成果向上が期待できない 性 影響無 ⇒【理由】 評 ⑤ 廃止・休止の成果への影響 ⊽ 影響有 ⇒【その内容】 佃 多目的広場の維持管理を廃止・休止すれば、雑草が生い茂り、鹿の糞が増加するので、利用者は減少しながら、 事務事業を廃止・休止した場合の影響の 最終的にはいなくなり、鷹生ダムひいては大船渡市のイメージダウンにつながる。 有無とその内容は? ⇒【理由】ラ 削減余地がある ⑥ 事業費の削減余地 割減余地がない ⇒【理由】 事業費は大船渡市シルバー人材センターへの委託料(26年度の場合:4月~11月まで)であり、維持管理に要する 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 日数も最低のものなので、これ以上の削減余地はない。 性 ⑦ 人件費(延べ業務時間)の削 ⇒【理由】つ 削減金地がある 評 削減余地がない 減余地 ⇒【理由】□ 価 やり方を工夫して延べ業務時間を削減で シルバー人材センターへの委託および支払いの事務のみなので、これ以上の削減の余地はない。 きないか?成果を下げずにより正職員以 外の職員や委託でできないか?(アウト ⑧ 受益機会・費用負担の適正 見直し余地がある **⇒【理由】** 平 化余地 ⇒【理由】 -公平・公正である 性 使用料については、大船渡市鷹生ダム多目的広場設置管理に関する条例で定めているが、同時に使用料の減免 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 不公平ではないか?受益者負担が公平・ 規定もある。広場は主に、市内の地区・地域公民館活動や市内小中学校が教育活動の場として利用されており、こ 公正になっているか? れらはすべて全額免除の対象となっているので、条例上は適正化余地はない。

#### 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)



4 課長等意見 (1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容	
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	現状維持で継続して事業を実施する。	
-	- /-	/ [ #N \ <del></del> \